新年のご挨拶

議長 荒川政義

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様方におかれましては、町議会の活動に対しまして、日頃より温かいご支援とご協力を賜り、議員一同、心から感謝いたしております。

昨年を顧みますと、新型コロナウイルスの感染拡大は、まったくもって収束の兆しが見えず、平成30年に発生した、大島大橋への貨物船衝突事故から復興した本町の地域経済に、再び追い打ちをかける事態となりました。

「新しい生活様式」が求められる中、新型コロナウイルスとの共存は避けて通ることはできませんが、必ずや打ち勝ち、町の経済を立て直すため、今後もきめ細かく取り組んでまいる所存です。

一方、議会では、9月定例会からタブレットを本格導入し、ペーパーレス化を実現し、議員活動や議会運営の一端を改革することができました。

また、11月14日をもって新たな顔ぶれとなり、6名の新人議員が誕生したことは明るい出来事であり、今後の活躍を期待するところであります。

12月定例会では議会の中に4つの特別委員会を立ち上げ、そのうちの「行政・病院事業改革特別委員会」では、旧町から引き継いできた財産の整理、組織・機構の見直し、令和2年4月から再編が始まった病院事業の運営については、その状況を注視し、関係各位のご理解とご協力を得ながら、島に公立病院を存続させるため、今後の医療体制について検証を重ねてまいります。

本年も、皆様のご期待に沿えられるよう、誠心誠意努力いたす所存でございますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

副議長 尾元 武

時代の潮流に残されることなく、皆様の声を反映できるもっと住みよい町づくりを目指します。

山中正樹 議員

地方創生の先頭を走り、介護福祉、教育の充実、防災減災に全力を尽くしてまいります。

栄本忠嗣 議員

周防大島町の発展のため、初心を忘れず、誠心誠意努めてまいります。